



市津地区活性化にむけた地域×大学連携



活動内容

市原市の市津地区(湿津地区・市東地区)住民と大学が連携し、地域を知ってもらい、学生が学んでいる医療や健康づくりと地域とのかかわり、大学がある市津地区の魅力や課題への気づき、など参加者が自ら考え新たな発想へと繋げる足掛かりとして、ワークショップが実施されている。

活動実績・成果

【2024年度実績】

実施日：2025年2月20日(木)

千葉キャンパスにおいて、市津地区住民15名、作業療法コースの1・2年生45名、教員4名と防災関連企業から6名運営にご協力いただき、総勢70名が参加した。

ワークショップで、防災の基本や自助・共助・公助の在り方、防災リハビリテーションの視点について触れ、災害現場での作業療法士の役割や重要性を学んだ。講義の後、体育館に移動し、避難所で用いられる段ボールベッド・非常用トイレ・簡易パーテーションの組み立て・解体や、被災食の簡易調理と試食等、実践的な活動を行った。

事業連携先

市原市市津地区

関連リンク：<https://www.thu.ac.jp/news/2024/250318-01>